

近江の古像

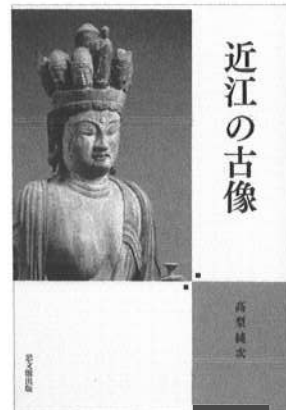
高梨純次 著

2014年8月刊行

▶A5判・400頁／定価：本体 9,000円（税別） ISBN978-4-7842-1761-8

古くから豊かな文化を育んできた近江の地は、仏教美術の宝庫であり、特に仏像は質・量ともに全国有数のレベルを誇る。

滋賀県立琵琶湖文化館・県立近代美術館で、近江の仏像に関する展覧会の企画や調査・研究に30年以上にわたって携わってきた第一人者が、主に8世紀から11世紀の近江の古仏について、その研究成果を集大成する。



●●内容目次●●

総論

第一部 近江の仏像の成立

—八世紀から九世紀における近江の仏像—

総説

第一章 湖南省・善水寺金銅誕生釈迦仏立像について

第二章 長浜市木之本町・鶏足寺木心乾漆造十二神将立像の制作年代について

第三章 長浜市高月町・日吉神社木造千手観音立像をめぐる

第四章 己高山寺の草創

第五章 長浜市木之本町・鶏足寺木造十一面観音立像について

第二部 比叡山寺の仏像

—延暦寺の草創から発展と造像—

総説

第一章 円仁帰国後の延暦寺の造像について
—現存作例の検討から—

第二章 東近江市（旧蒲生町）・梵釈寺宝冠阿弥陀如来像の制作時期

第三章 長浜市木之本町・金居原薬師堂の木造伝薬師如来立像について

第四章 石山寺木造阿弥陀如来坐像について

第五章 長浜市木之本町・石道寺の造像

第六章 甲賀市甲南町・正福寺の金剛力士像とその周辺

第三部 近江の初期神像

—仏像と神像の狭間で—

総説

第一章 甲賀市・永昌寺木造地藏菩薩立像について
—天台系僧形像についての一試論—

第二章 栗東市・金勝寺木造僧形神像について


第三章 米原市・惣持寺の木造天部形立像について
—伊吹山、荒ぶる神の信仰と造形—

索引

たかなし・じゅんじ・・・1953年京都市生.同志社大学大学院文学研究科博士前期課程修了.滋賀県立琵琶湖文化館,滋賀県立近代美術館学芸課長を経て,現在公益財団法人秀明文化財団参事.

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	近江の古像	本体9,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1761-8	
お名前			tel		
			e-mail		
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代 引(書籍代+送料400円を現品と引き替えにお支払い)				
				本書HPのQRコード	
				書店番線印	

続日本仏教美術史研究

中野玄三著

前著『日本仏教美術史研究』から約20年。現役引退後も京都府下の8市町村の編纂や奈良国立博物館の調査に携わり、美術作品の調査研究を続ける中から生まれた知恩寺本十体阿彌陀像、東寺本仁王経五方諸尊像、西大寺本馬頭観音像、神護寺薬師如来立像ほかについての研究成果15篇を収録。日本仏教美術史学における中野学説の総決算ともいえる労作。

【浄土教絵画篇】日本浄土教絵画の研究／阿彌陀影現図論／知恩寺本十体阿彌陀像と観経十六観変相図／天台宗の六道絵

【密教絵画篇】仁王経曼荼羅の展開／仁王経法と不動明王像／東寺本仁王経五方諸尊像の諸問題／立像十二天の図像学的考察 ほか

【仏像・仏画篇】神護寺薬師如来立像再論／大將軍信仰とその造形／城陽市極楽寺阿彌陀如来立像について／仏教世界の山水 ほか

▶A5判・540頁／本体11,000円(税別) ISBN4-7842-1269-8

仏教美術を学ぶ

中野玄三・加須屋誠著

50年以上の長きにわたる中野美術史学の軌跡を、加須屋誠との対談をとおして振り返り、仏教美術を学ぶことの課題・方法・魅力を余すところなく収録。ソフトな文体で読みやすく、仏教美術の入門書としても最適な一書。

▶A5判・348頁／本体3,000円(税別) ISBN978-4-7842-1720-5

仏教東漸の旅 はるかなるブツの旅

宇野茂樹著

釈迦の聖地を起点に悠久の歴史が遺した信仰の足跡をたどる仏教美術巡礼。仏跡の地図・写真多数収録。【内容】釈迦の遺跡を訪ねて／インドの寺院と石窟寺院／パキスタンの仏教美術／新疆ウイグルの遺跡のかすかす／河西回廊の仏教遺跡／中国中原の石窟／河北・山西・山東省の石窟／韓国の石仏／追録(インドの早期石窟)

▶46判・296頁／本体2,500円(税別) ISBN4-7842-0991-3

※正倉院宝物に学ぶ

奈良国立博物館編

日々、宝物の保存と修理に携わる宮内庁正倉院事務所の研究者をはじめ、東大寺・奈良国立博物館ゆかりの国内外の研究者が、正倉院研究の現在、八世紀の東アジア文化、宝物の保存・伝承の3つのテーマで報告・討論。正倉院宝物の精粋がわかる一書。

▶46判・438頁／本体3,000円(税別) ISBN978-4-7842-1439-6

石山寺の信仰と歴史

鷲尾遍隆監修／綾村宏編

琵琶湖畔瀬田川のはとりに荘重な伽藍を構える石山寺は、奈良時代、聖武天皇の勅願により創建され、古くから観音信仰の聖地であった。石山寺の信仰・歴史・美術・文学・経典を、第一線の研究者が、豊富なカラー図版とともに解説。オールカラー、図版150点。

▶A5判・180頁／本体1,800円(税別) ISBN978-4-7842-1387-0

祈りの文化 大津絵模様・絵馬模様

信多純一著

江戸時代から明治・大正そして現在まで、近江大津追分にて作られ、手軽な土産として全国津々浦々の人々に愛された民画・大津絵。その起源・絵馬との共通点・画題の意味など新考察を加え、多くの図版をあけて解説した全大津絵の事典。

▶B5判・178頁／本体3,500円(税別) ISBN978-4-7842-1425-9

※大津京跡の研究

林博通著

天智天皇造営の大津宮の所在地については、多くの学説と論争があったが、1974年の著者による遺跡発見以後、数十カ所の発掘が行われ、構造復元の作業が進められた。本書は、永年におたる大津京論争に決着をつける、初の包括的研究集成。口絵(8ページ25点の写真)および本文収録図版182点。

▶B5判・280頁／本体8,800円(税別) ISBN4-7842-1073-3

続々日本仏教美術史研究

中野玄三著

仏教美術史研究三部作の最新刊。50年に及ぶ中野美術史学の集大成。

【縁起絵篇】

縁起絵序説／『八幡縁起』の展開／宇良神社本『浦嶋明神縁起』について／談山神社本『多武峯縁起』について／北野天満宮本『聖廟縁起』について／平等寺本『因幡堂縁起』について／縁起絵と高僧伝絵／光明寺本『光明寺縁起』について／丹後の麻呂子親王伝説と呑香童子

【仏像・仏画篇】

木津川流域の薬師悔過とその仏像／観智院本『九曜秘曆』について／真福寺本『梵輝鈔』「如法尊勝法」について／密教図像と鳥獣戯画再論／南山城真輪院本「阿界曼荼羅」について／南山城村真輪院本「星曼荼羅」について

▶A5判・820頁／本体17,000円(税別) ISBN978-4-7842-1415-0

大徳寺伝来五百羅漢図

奈良国立博物館・東京文化財研究所編

中国・南宋時代の寧波周辺の地において、林庭珪・周季常という絵師により全100幅が制作され、うち82幅が大徳寺に伝来する「五百羅漢図」は仏教絵画を代表する名品。奈良国立博物館と東京文化財研究所との共同研究の調査報告書を大幅に増補改訂し、論文・参考資料を追加・加筆のうえ、図版をより大きくし、高精細カラー印刷にて公開。

▶B4判・312頁／本体50,000円(税別) ISBN978-4-7842-1743-4

※埴仏の来た道 白鳳期仏教受容の様相

後藤宗俊著

粘土を型押ししてつくられた小さな仏像である埴仏(せんぶつ)はインドから中国を経て白鳳時代の奈良・飛鳥に招来されたが、日本では比較的限られた地域に受容され短命のうちに姿を消した。本書はこの「埴仏の来た道」を丹念にたどり、そこにこめられた祈りの諸相を明らかにする。

▶A5判・322頁／本体5,700円(税別) ISBN978-4-7842-1433-4

正倉院宝物に学ぶ2

奈良国立博物館編

日々、宝物の保存と修理に携わる宮内庁正倉院事務所の研究者をはじめ、東大寺・奈良国立博物館ゆかりの国内外の研究者が、正倉院宝物の様々な面を報告・討論する第2弾。今回は2008～2010年の正倉院学術シンポジウム「正倉院研究の現在」「皇室と正倉院宝物」「正倉院宝物はどこで作られたか」の3テーマを収録。

▶46判・348頁／本体2,500円(税別) ISBN978-4-7842-1658-1

※近江文化財全集 [全2巻]

近江史跡会編

50にわたる市町村の文化財を、建造物・仏像・絵画・工芸品・史跡・名勝・天然記念物・無形文化財・民俗資料・古墳出土品など数千点にのぼる資料の中から訳2000点を選び、市町村ごとに解説。概説として「近江路の文化財」を付す。巻末には参考文献を付した。

▶B5判・総796頁／本体12,000円(税別)

環琵琶湖地域論

西川幸治・村井康彦編

地域研究の深化が求められる昨今。本書は、滋賀県立大学の研究スタッフが、琵琶湖をとりまく自然・経済・民俗・遺跡などをとりあげた成果。【内容】中世商業村落の生活と環境の整備／人と自然の関係史素描／江戸時代における琵琶湖の鳥獣について／琵琶湖湖底遺跡の研究／内湖のあった生活／溜池のある風景 ほか

▶A5判・340頁／本体7,000円(税別) ISBN4-7842-1175-6

太子信仰と天神信仰 信仰と表現の位相

武田佐知子編

時代を超えて諸階層の篤い崇敬を得てきた、聖徳太子信仰・天神信仰の比較研究。各専門分野の研究者による両信仰に関わる美術史、文学史、宗教史、芸能史的研究を集成し、時代のニーズとともに変化する信仰の形態や、それに付随するイメージの付与、そして宗派や地域を越えて多面的に利用されるそれぞれの信仰の進化形について明かす。

▶A5判・354頁／本体6,500円(税別) ISBN978-4-7842-1473-0

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。